

川崎の男女共同社会を **すすめる会通信** No.208

●連絡先 藤井光子 hymico@me.com ☎&FAX 044-944-7872 ●発行日2021年3月15日
〒214-0003 川崎市多摩区菅稲田堤3-8-2-503 ●HP <http://web-k2.jp/ssk1985/>

コロナ感染がおさまらず東京・埼玉・千葉・神奈川県
の緊急事態宣言が、3月21日まで2週間延長されることになりました。1月7日の発令から2度目の延長になりましたが、皆さまお元気にお過ごしでしょうか。

コロナ禍の1年、様々なイベントが中止になり、10月のすすめる会の講座も危ぶまれました。しかしオンライン実施への動きは素早く、すすめる会の協働事業「非正規シングル女性の現状とこれから」もすくらむ21の2つの部屋をつないで、人数を半数ずつ振り分け実施することができました。

4月25日に予定していた、2021年度の総会は、会員の方の負担を少なくするためにも昨年同様書面での議決にさせていただきます。会員が集まれないことはとても残念ですが、コロナ流行の状況が見通せないため、皆様のご理解をよろしくお願いいたします。(Fujii)

2021年度

第38回総会 書面議決のご案内

新型コロナウイルスの流行が始まって1年以上が経ち、感染が静まるのか、見通せない状況が続いています。会員のリスクを避けるためにも今年も書面総会にすることにしました。

4月初旬に議案書と議決のための葉書を送付しますので賛否を記入の上、4月末日までにご返信ください。ご協力と応援をよろしくお願いいたします。

◆書面での議決総会

- ・2020年度 活動報告／活動のまとめ

会計報告／会計監査報告／

- ・2021年度 活動計画案／予算案

規約改正提案 会費の変更

→個人・団体グループの会費を2000円に変更

選択的夫婦別姓

自民党の国会議員有志50名が「選

択的夫婦別姓の導入に賛同する意見書を地方議会で採択しないよう求めた文書」を40都道府県議会議長に1/30付で送っていることが分かりました。

市民団体「選択的夫婦別姓・全国陳情アクション」は2月26日、文書に名を連ねた国会議員50人に公開質問状を送った。選択的夫婦別姓の実現を求める意見書を採択しないよう促す内容で、閣僚就任前の丸川珠代男女共同参画担当相のほか、高市早苗前総務相、衛藤晟一前少子化対策担当相ら計50人が名前を連ねていた。(東京新聞)

3月3日国会で福島みずほ氏は「なぜ丸川さんは選択的夫婦別姓に反対なのか」と質問。丸川氏は7回続けて答弁拒否した。(丸川氏は自身も旧姓使用)

すくらむ21の指定管理者が変わります 「社会福祉法人共生会 SHOWA」へ

2021年4月1日から、すくらむ21の指定管理者が社会福祉法人共生会SHOWAに代わることが2月川崎市議会で決まりました。

現在のパーソルテンプスタッフ(株)は全国初の民間企業を構成員とする男女共同参画施設の指定管理者として、2006年度からセンターの事業推進・管理運営を担ってきました。

** 社会福祉法人共生会 SHOWA **

2005年特定非営利活動法人NPO昭和を母体として設立された。理事長は坂東眞理子さん(昭和女子大学理事長・総長)2001年内閣府男女共同参画局長(2003年8月まで)

すくらむ21まつり 企画展示テーマ
 すくらむ21の20年を
 ふりかえる
 2月1日(月)～6日(土) 10:00～17:00
 ●すすめる会のテーマは
「ジェンダー平等のかわさきへ」
 開館20周年記念 展示参加7団体

20川崎の男女共同社会をすすめる会 **1/4**

●写真と展示内容を紹介

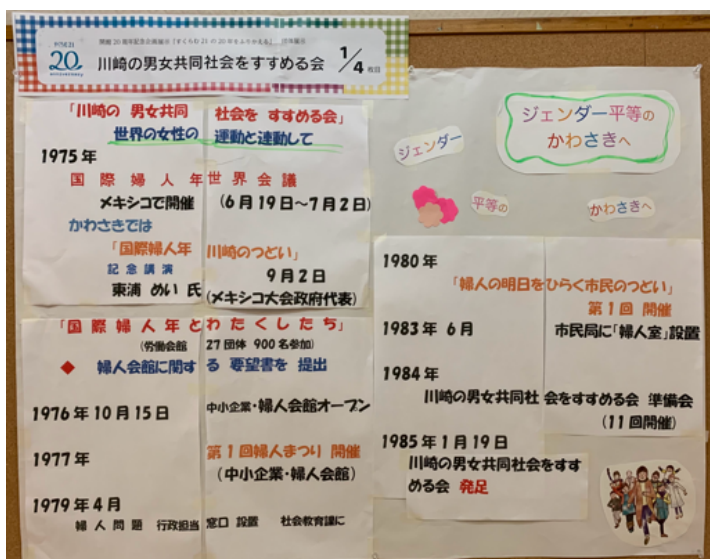
コロナ禍で例年のように1日かけたお祭りにはできず、「すくらむ21開館20周年記念ウィークとして分散して実施されました。

すすめる会は展示企画(2/1～6)に模造紙4枚にジェンダー平等に関わる4つの視点で展示をしました。

20川崎の男女共同社会をすすめる会 **2/4**

こんな女性センターがほしい！

すくらむ21 開館前史 -1975年～1995年-
女性センター建設を求めて 市民とすすめる会の取り組み



●世界の女性の運動と連帯して

- 1975年 国際婦人年世界会議 メキシコ
- 1975年 国際婦人年川崎のつどい
27団体900名参加 婦人会館に関する要望書を市長に提出
- 1976年 川崎市中小企業・婦人会館オープン
(市内7女性団体が運営 2007.3閉館)
- 1977年 第1回かわさきふじんまつり
- 1979年 社会教育課に婦人問題窓口設置
- 1980年 第1回婦人の明日をひらく市民のつどい
- 1983年 川崎市 市民局に「婦人室」設置
- 1984年 川崎の男女共同社会をすすめる会準備会
(11回開催)
- 1985年 川崎の男女共同社会をすすめる会発足

1985年、国連女性の10年世界会議が開かれた年、日本は女性差別撤廃条約を批准。翌年、男女雇用機会均等法・改正労働法施行。1995年には北京で第4回世界女性会議・NGOフォーラムが開かれ、川崎からも女性10名が市民代表として参加しました。その機運の中で、日本全国の大きな都市には次々と女性センターができました。政令指定都市で女性センターを持っていないのは広島市と川崎市だけになっていました。女性センター建設はずっと長い間、川崎の女性たちの要望でした。1999年にすくらむ21がオープンするまで、すすめる会や多くの女性団体が建設を求めて運動し、実現したのがここ「すくらむ21」です。

女性センター建設へ向けてのあゆみ

女性センター建設は、多年にわたる川崎市民の要望でした。1975年の「国際婦人年」を受けて、川崎でも女性たちは行動を開始。集える場所がなかった女性たちの思いが大きな運動になり、当時の伊藤三郎市長(1971.4.23～1989.10)を動かし、1976年10月(財)川崎市中小企業・婦人会館がオープン。以後、市民女性の様々な運動の拠点となってきました。(10周年記念誌『すすめる会のあゆみ』より)
 (▶中婦の存在は、その後1990年代の女性センター建設要望につながりました)

1975年	国際婦人年。国際婦人年世界会議(メキシコ)「国際婦人年川崎の集い」開催。『婦人会館建設に関する要望』を採択。
1976年	(財)川崎市中小企業・婦人会館がオープン。
1985年	「川崎の男女共同社会をすすめる会」発足
1990年	すすめる会の中に「女性センター調査委員会」設置 市民が望む「女性センター」の調査・研究、建築家との懇談会・他都市の施設見学を始める。
1992年	市長の諮問を受けて、川崎市女性センター建設構想委員会が「(仮称)川崎市女性センターの基本構想について」を提言。▼川崎市、2010プランで女性センター建設を宮前区宮崎台に文化施設を含め、建設すると発表。
1994年	すすめる会女性センター調査委員会が『こんな女性センターがほしい!』を発表 川崎市市民局、『(仮称)川崎市女性センター』の基本計画策定 ▼女性センター建設予定地(宮前区)の取得困難と報道
1995年	11月、すすめる会の呼びかけにより「女性センターの早期建設促進」を39団体で請願。
1996年	▼3月、川崎市は(仮称)女性センターを現高津市民館をリフォームして転用することを決定



かわさき市民活動センター
つながるマルシェ 2/28
オンライン開催参加



今年のごえん楽市は、5団体*の活動紹介がyoutubeライブで放送されました。

すすめる会では杉目さん、勝又さんが展示を紹介しながら司会の質問に答えました。(すくらむまつりでも展示した4枚、通信今月号)

すすめる会の設立の経緯、現在のすくらむ21での活動内容、すすめる会通信のこと、ジェンダー平等のテーマなど、現在までのすすめる会の活動を紹介しました。市民活動センターのHPから視聴できます。

* 5団体/くれよん・川崎区盛り上げ隊!・NPO法人幸区盛り上げ隊・一般社団法人日本こども色彩協会・すすめる会



「改姓ハンディいつまで」サイボウズ・青野社長に聞く 2020.12.13神奈川新聞
東証1部上場のソフトウェア会社「サイボウズ」(東京都中央区)社長の青野慶久さん(49)は、改姓して不都合を被った当事者と

して選択的夫婦別姓導入を訴え、法廷でも闘っている。「政府はいつまで改姓によるハンディを背負わせるのか。早く立法を」との思いを強めている。(中略)遅すぎる。数十年間ずっと苦しんでいる国民がいて、無駄な名前の書き換え作業をしている人を大量に生み出している。私のように、(旧姓との)使い分けで無駄なコストやリスクを抱えている人が大量にいる。どれだけハンディを背負わせるのか…(以下略)

性の多様性 LGBT SOGIとは
【LGBT】



L (レズビアン) : 同性愛者の女性

G (ゲイ) : 同性愛者の男性

B (バイセクシャル) : 男女の両方を好きになれる同性愛者。性的嗜好が男性と女性

T (トランスジェンダー) : 生まれた時に割り振られた性別(戸籍の性)とは異なる性別で生きていこうとする人(戸籍の性と性自認が一致しない)

【SOGI】

Sexual Orientation (性的指向)

人の恋愛・性愛がいずれの性別を対象とするか

Gender Identity (性自認)

性別に関する自己意識のこと。

性的指向や性自認と言う事柄で、人間を差別してはいけないと言うことを意味して使われる。

女性ニュース

▶WTO新トップに女性

2月15日 世界貿易機関(WTO)は一般理事会でナイジェリアのヌゴジ・オコンジョイウエアラ元財務相(66)を次期事務局長に正式承認し、3月1日に就任すると発表した。

アフリカ出身、女性ではじめて同ポストについた。ナイジェリア南部で生まれ、米ハーバード大学へ進み、マサチューセッツ工科大学で経済学の博士号を取得した。世界銀行で25年勤務し、途上国の開発問題を専門に扱い、専務理事を務めた。ナイジェリアの財務相を2度、外務相も経験するなど国内外の要職で手腕をかわれてきた。

▶米50州議会、女性3割に史上最多、共和党もジワリ

米国で昨年各州議会選の結果、全米50州議会の女性議員数は史上最多を記録した。民主党が依然、共和党を圧倒しているものの、共和党もジワリと数を伸ばしつつある。8日は国際女性デー。専門家は女性の政治参画を推進する動きとして歓迎している。ラトガース大「米国女性と政治センター(CAWP)」の調べによると、全50州中44州で実施された上下両院選の結果、州議会の議員7383人中、女性は2279人と初めて全体の3割を超えた。このうち民主党は1510人を占める。共和党は748人と民主党のほぼ半数だが、2018年選挙から1割以上増えた。(中日新聞)

▶花を手に、性暴力撲滅を訴える「フラワーデモ」

11日夜、川崎駅前で開催された。主催者によると、川崎での開催は初めてで32人が参加。「ジェンダー平等社会へ」「性差別・性暴力なくそう」。キャンドルの光が揺れる中、思い思いのメッセージを胸に掲げ、静かに立つスタンディングを行った。デモは、2年前に性暴力の罪に問われた男性に対する無罪判決が各地裁で相次いだことに抗議して始まった。オンライン上も含め、各地で毎月開かれてきた。県内では横浜や県西に次いで川崎が3ヶ所目という。

(神奈川新聞)

▶新聞労連ジェンダー表現調査

3月8日の国際女性デーに合わせて、新聞労連はメディア業界で働く記者らが組織内で感じるジェンダー表現への違和感についてアンケートをおこなった。回答した264人のうち、66%が「配慮のない表現を見かけ、違和感をいだくことがある」とした一方で、そのうちの半数は「黙ってそのままにした」と答えており、女性蔑視発言などを報じる側であるマスメディアの旧態依然とした実態

が浮き彫りになった。自由記述欄では、管理職のほとんどが男性というメディア業界の組織変革という意見が多くあった。

▶ジェンダー差別発言投票

「ジェンダーに関する問題ある公的発言ワースト投票 2021」が8日発表された。1位は自民党の杉田水脈衆院議員、2位は東京五輪・パラリンピック組織委員会の森喜朗前会長となった。

▶五輪組織委員長に橋本聖子氏

女性差別発言が問題になり辞任した森喜朗氏の後任に夏の自転車・冬スケートと2度の五輪で活躍した橋本聖子氏が就任した。橋本氏にはホスト国としての注目があつまる。

▶内閣広報官に小野日子氏

3月3日の持ち回り閣議で、菅総理の長男側からの違法接待問題で辞任した山田真貴子(60)氏の後任に、外務省の小野日子外務副報道・広報・文科交流担当、アジア太平洋局審議官(55)を充てる人事を決めた。

▶男女共同参画担当大臣丸川珠代氏

選択的夫婦別姓に反対

(東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣、内閣府特命担当大臣(男女共同参画)、女性活躍担当大臣)

1月30日付の文書の「選択的夫婦別姓制度導入に賛同する意見書を地方議会で採択しないよう」求める文書を自民党の国会議員有志が一部の地方議員に送っていたことが2月24日に関係者への取材でわかった。就任前ではあるが、丸川珠代氏も名を連ねていることが判明した。あらゆる差別に反対する五輪憲章の理念との乖離が懸念される。

これからの活動

3月24日(水) 幹事会10:00～ すくらむ21

活動日誌

1月20日 通信印刷・発送

1月27日(水) 幹事会10:00～すくらむ21

2月1日～6日 すくらむまつり 展示参加

2月6日(土)すくらむ20周年記念イベント参加

13:45～ブレーメンの音楽隊

2月17日(水) 幹事会10:00～ すくらむ21

2月28日(日)◆川崎市男女共同参画センター

協働事業成果報告会 14:00～ 参加

オンライン開催 すくらむ21

◆つながるマルシェ 展示参加 上映

市民活動センター 10:00～

3月10日(水) 幹事会10:00～すくらむ21